



TOKYO

ZERO EMISSION

A Sustainability and Resilience Strategy pursuing 1.5°C

東京都は、2050年に、CO₂実質ゼロに貢献する
ゼロエミッション東京を実現することを宣言いたします。

東京都カーボנקレジットマーケット等 のご紹介



東京都産業労働局

HTT
Tokyo Tokyo
夢力を
へらす
つくる
だめる

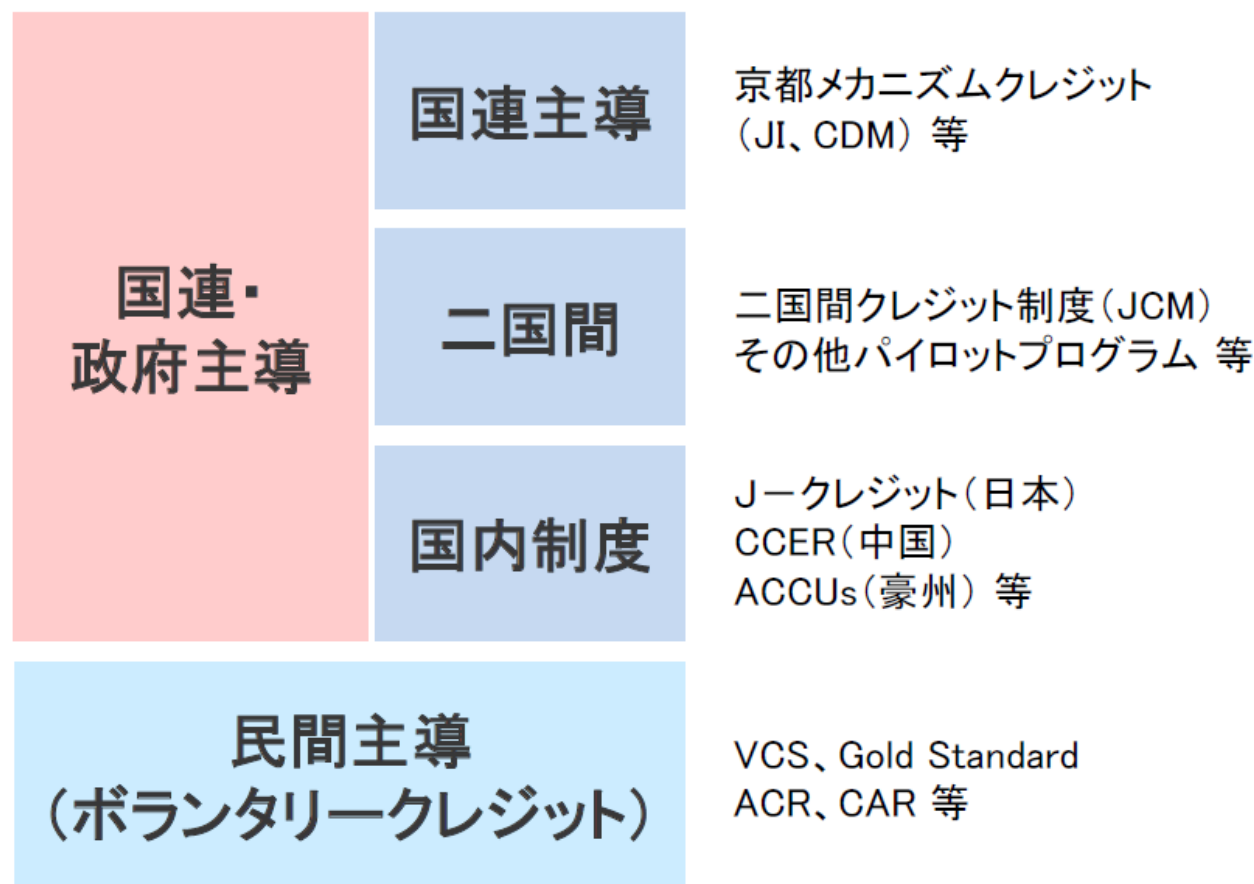
- 脱炭素化は企業経営を行うに当たり、重要な経営戦略の一つに
 - 脱炭素化は、コスト削減に加えて、業績向上・人材獲得・資金調達にも寄与
 - カーボンプレジットの活用により、自社によるCO2削減が困難な排出量の脱炭素が可能
 - カーボンプレジットの活用は、企業にとって脱炭素化の取組の有効な選択肢



〔脱炭素経営に取り組む5つのメリット〕

カーボンのクレジットの大まかな分類

- ①国連・政府が主導し運営される制度と、②民間セクターが主導し運営される制度（ボランタリークレジット）が存在

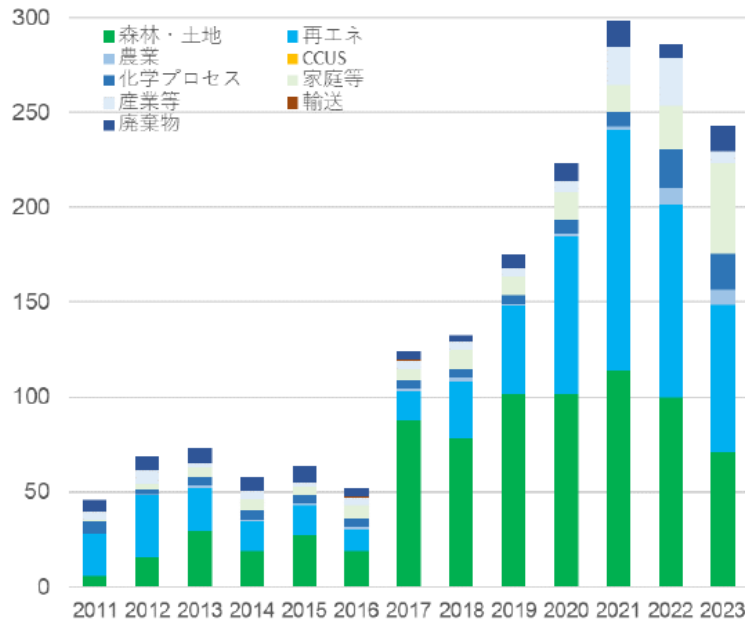


〔カーボンのクレジットの分類〕

○J-クレジットと比較し、取引量が豊富、プロジェクトが多彩、価格が安いものが多い傾向

■ 海外ボランタリークレジットには、企業の脱炭素に貢献するポテンシャル

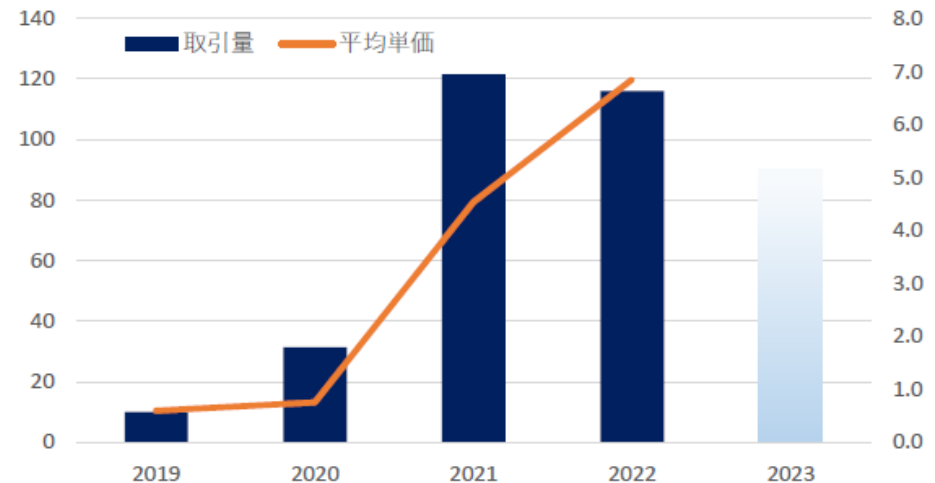
単位: 百万t-CO₂e



〔主要な海外ボランタリークレジットの発行量推移〕

百万t-CO₂

ドル/t-CO₂



〔CBL-Marketにおける取引量、平均単価の推移（年次）〕

海外ボランティアークレジットの活用にあたってのハードル

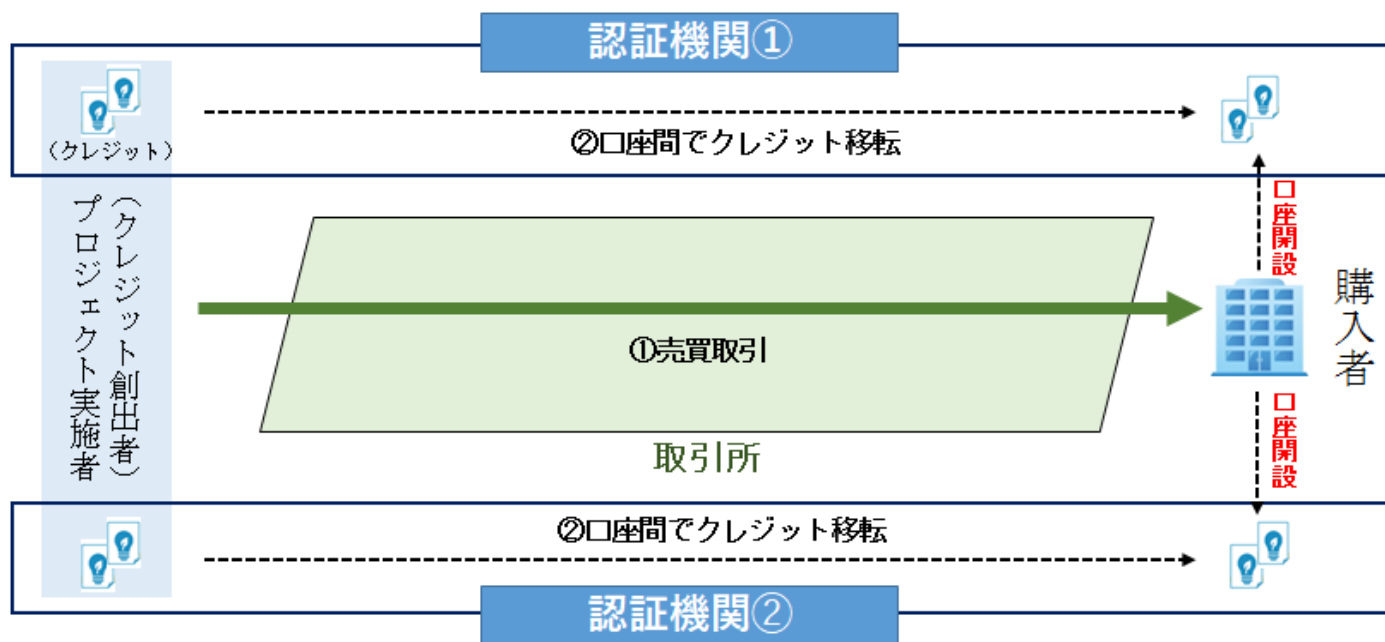
○海外ボランティアークレジットを活用するにあたっては、ハードルが存在

■言語の壁

- ・海外ボランティアークレジットに関する情報の多くは、英語で表示

■クレジット認証機関毎に口座開設が必要

- ・海外ボランティアークレジットの取引には、クレジット認証機関毎に口座開設が必要（英語対応）



〔海外ボランティアークレジットの取引スキーム〕

東京都カーボンクレジットマーケットの概要①

○国内外のカーボンクレジットを容易に取引できる独自の取引システムを本年3月に開設

■日本語表示

・海外ボランタリークレジットについても、必要な情報を日本語で表示

■クレジット認証機関毎の口座開設が不要

・クレジットをトークン化することで、購入者の口座開設を不要に

■取引の信頼性向上

・ブロックチェーン技術の活用により、取引に関する信頼性や透明性も確保



※一部のクレジットはオフセット証明書を発行

〔取引システムスキーム図・特徴〕

東京都カーボンクレジットマーケットの概要②

■ 利用対象者

- ・国内の法人、任意団体

■ 登録・利用方法

- ・システムウェブサイト内の「ログイン・新規登録」から利用登録手続きを実施
システムウェブサイトURL : <https://carbon-market.metro.tokyo.lg.jp/>



■ 登録・利用料

- ・無料

■ 取引システムで取り扱うクレジット

- ・J-クレジット、海外ボランタリークレジット

<東京都カーボンクレジットマーケット>



※一部のクレジットはオフセット証明書を発行

〔取引システムスキーム図・特徴〕(再掲)

〔クレジットの一覧を表示する画面〕

プロジェクトの地域や内容等で
フィルタリング・ソートが可能

「A」、「BBB」
等の格付情報が
参照可能

The screenshot shows a web interface for carbon credits. At the top, there's a header with a shopping cart icon, a language selector (JP), a 'ご利用ガイド' (User Guide) button, and a 'マイページ' (My Page) dropdown. Below the header, there's a sidebar on the left with filters and a main content area with a list of projects.

並び替え (Sorting): A dropdown menu showing '価格が安い順' (Sort by lowest price).

国 (Country): A list of checkboxes for 'アメリカ' (America), 'インド' (India), 'メキシコ' (Mexico), 'ブラジル' (Brazil), and 'その他' (Others).

認証基準 (Certification Standard): A list of checkboxes for 'Gold Standard', 'American Carbon Registry', 'Climate Action Reserve', 'Verified Carbon Standard', 'Isometric', and 'その他' (Others).

格付情報 (Rating Information): A list of checkboxes for 'BeZero Carbon' and 'Sylvera'.

Project List:

- 熱帯雨林保全プロジェクト (Tropical Rainforest Conservation Project):** Price: ¥1,300/t-CO2 (税込). VCS. BeZero Carbon Rating: AA, Sylvera rating: A, CCP: Approved.
- 風力発電プロジェクト (Wind Power Project):** Price: ¥1,800/t-CO2 (税込). gsd. BeZero Carbon Rating: A, Sylvera rating: BBB.
- ベトナムの竹バイオ炭 (Vietnam Bamboo Biochar):** Price: ¥2,300/t-CO2 (税込). gsd. CCP: Approved.
- 熱帯雨林保全プロジェクト (Tropical Rainforest Conservation Project):** Price: ¥1,800/t-CO2 (税込). 二次販売 (Secondary Sale), VCS. BeZero Carbon Rating: AA, Sylvera rating: A, CCP: Approved.

〔クレジットの詳細を表示する画面〕

どの地域で、
どのような手法により
CO₂が削減されたのか等
の詳細な情報が閲覧可能

¥801/t-CO₂ (税込)

販売元
e-dash Carbon Offset

国
その他

CCPラベル
あり

認証基準
VCS

Vintage Year
2021

BeZero Carbon rating
A

風力発電プロジェクト

〇〇県〇〇高原風力発電プロジェクトの目的は、〇〇高原における風力エネルギーの潜在力を利用し、持続可能な費用対効果の高い方法でエネルギー需要を補うことです。定格出力2MWの風車50基を設置・運転するものです。総容量 30 MWe の発電は開閉所に接続されています。電圧は 154 kV に昇圧され、電力は〇〇電力送電会社 のABC変電所を通じて送電網に供給されます。このライセンスは2007年12月に発行されました。プロジェクト活動による利用可能な風力エネルギーの効率的な利用により、年間 89 GWh の発電量が推定され、さまざまな燃料源 (主に化石燃料) で構成されるグリッド電力が置き換えられます。プロジェクト活動によって生成された電力により、年間 55,162 トンの CO₂e 排出量が削減されます。さらに、プロジェクト活動は風力エネルギーのさらなる普及と国内発電の拡大に貢献します。

購入量を指定

購入量
例: 10 t

購入可能量: 500トン

金額 (税込) --円

カートに入れる

- 注文の流れ
- ボランティア

BeZero Carbon Rating

表示内容、免責事項について >

BeZero Carbon Rating

A

VCS 2478

BeZero Carbon has removed from 'rating watch' and upgraded to 'A' (from

リスクレベル

追加性リスク	非常に低い	低い	中程度	高い	非常に高い
炭素会計リスク	非常に低い	低い	中程度	高い	非常に高い
非永续性リスク	非常に低い	低い	中程度	高い	非常に高い

*注意
BeZero Carbonはリスク要因の評価結果の提示方法を更新し、3つのリスク要因に基づく

格付の根拠に
関する情報が閲覧可能

■対象事業者

- ・都内に事務所又は事業所を有する事業者（民間企業、学校法人、医療法人等）

■助成対象

- ・**東京都カーボンプレジットマーケット**で購入したクレジットによる温室効果ガス（GHG）のオフセットを通じた製品・イベント等のブランディング及びプロモーションの取組

【例】・製品を作る工程で排出したCO2をクレジットで埋め合わせ、環境に優しいブランドとしてP R
・コンサートで排出するCO2をクレジットで相殺して、カーボンニュートラルなイベントとしてP R

■対象経費

対象事業者	助成対象経費	助成率	助成上限額
中小企業	・製品等に係るGHG排出量の算定に要する経費 ・ブランディング及びプロモーションの企画立案等に係るコンサルティングに要する経費 ・プロモーション実施に要する経費	3分の2	200万円
中小企業以外	・プロモーション実施に要する経費	2分の1	100万円

■申請手続き（申請期限：令和7年12月26日）

- ・東京都環境公社ウェブサイトから募集要項等をご覧ください、申請期限までに申請受付窓口へ必要書類を提出

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/creditoffset_pr

